

日 時	タイトル名	場所・座席	料 金	チケット 発売場所	未就 学児
6/22 (土)	開演14:00 (開場13:30) 奈良フィルサロンコンサート音楽の土曜日 Vol.207 ～トリオの愉しみ～	レセプション ホール 全席自由	2,000円	発売中 [ホ]	×
出演：袴田 さやか (ヴァイオリン)、西川 彩乃 (チェロ)、岡野 弥生 (ピアノ) 曲目：愛の挨拶／エルガー、リベルタンゴ／ピアソラ ほか					
7/7 (日)	開演14:00 (開場13:30) 第92回日本音楽コンクール受賞者 発表演奏会 大和郡山公演	大ホール 全席指定	一般2,000円 学生1,000円	発売中 [ホ][?] [ロ] [e+]	×
日本音楽コンクールはクラシック界の登竜門として知られており、これまで長年にわたり数多くの有望な新人音楽家を世に送り続けてきました。世界にはばたこうとしている受賞者による演奏を是非この機会にお聴きください。※岩谷賞＝聴衆賞。 出演：鈴木 愛美 (ピアノ1位・岩谷賞)、水野 琴音 (バイオリン1位)、吉田 智就 (ホルン1位・岩谷賞)、市川 敏雅 (声楽 入選)					

※チケット欄の記号＝発売場所 [ホ]:DMG MORI やまと郡山城ホール窓口 [?]:チケットぴあ [ロ]:ローソンチケット [e+]:イープラス



市長てくてく城下町 222

『大和川と「亀の瀬」』

大和郡市長 上田 清

奈良盆地を流れる156本もの川を一手に集める大和川は、生駒山地と金剛山地に挟まれ川幅が急に狭くなる「亀の瀬」から大阪湾に向かいますが、その「亀の瀬」には大和の人びとを苦しめてきた難題が二つありました。

一つは川幅が狭いため、大雨が降ると奈良側の水位が上がってしまうこと。奈良盆地の周辺には高い山がなく、降った雨が一気に流れ出ることも関係していると言われます。

もう一つはこの地域が約4万年前から地すべりを繰り返してきたこと。地すべりというのは土砂崩れのような表面的な崩壊ではなく、ある一定の層がまとまってゆっくりと、長期にわたって斜面を移動する現象で最大深度は約70㍍だとか。

近年では明治36年、昭和6～8年、昭和42年に発生、特に昭和7年7月には豪雨の影響により地すべりが活発化し、大和川の河床が9㍍も上昇するとともに、関西本線の亀の瀬トンネルが崩壊してしまいました。

今もし大規模な地すべりが起こると、奈良盆地は水没、さらにその水圧で亀の瀬の土砂が崩れ、大阪側に大量の水があふれることに

なります。

そこで、約60年前から土や地下水を取り除く工事と約100㍍にも及ぶ巨大な杭を打ち込む工事が行われてきました。総工費は約1千億円、国家事業と言ってもいいのではないのでしょうか。

昨年、現地の『亀の瀬地すべり歴史資料室』を見学したのですが、この春リニューアルオープンしたとのこと。地すべりの規模が立体的にわかるジオラマなど、あらためて見学したいと思います。

トンネルの崩壊で、線路は大和川の北から南側に移されましたが、対策工事の際に偶然発見されたトンネルの一部が公開され、プロジェクトマップが上映されています(要予約)。

トンネルの内部はレンガ造りで、明治期の職人の高い技術力が部分的とはいえトンネルを守ったと聞き、感動したことが強く印象に残っています。

亀の瀬地すべり歴史資料室

☎072-978-8165